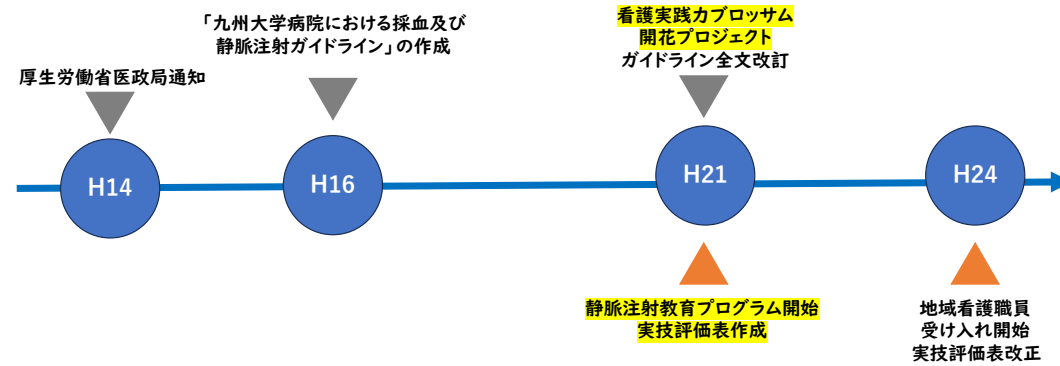


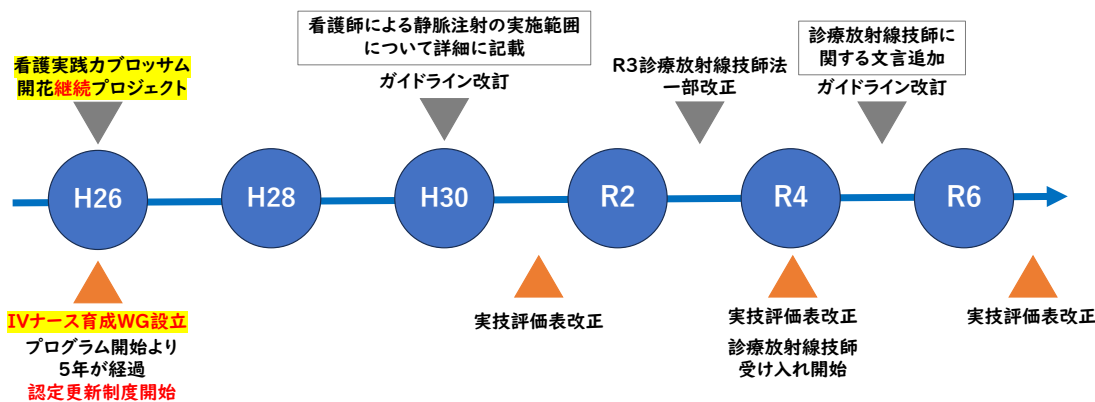
静脈注射認定看護師 (IVナース) 育成プログラムとワーキングの取り組み —10年の成果と今後の展望—

静脈注射認定看護師育成ワーキング
【IVナース育成WG】

設立の背景



10年間の経緯



目的・役割

【目的】

静脈注射認定看護師の育成を継続し、静脈注射に関する質を担保する

【役割】

静脈注射認定看護師育成プログラムの企画・運営・実施・評価および更新制度の実施を行う

キャリアセンターにおけるIVナース育成WGの活動

看護職の 生涯学習への支援

- ◆5年毎の認定更新
- ◆育休・病休復帰後の静脈注射スキルの指導

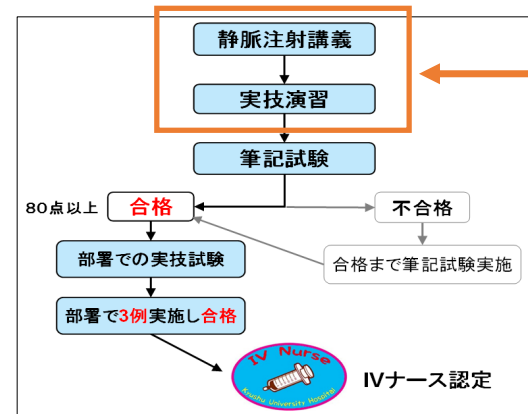
地域全体の看護の質向上への 貢献・他施設との交流・教育

- ◆地域看護職員の研修受け入れ

社会のニーズに合わせた 教育プログラムの開発や 教育体制の整備

- ◆実技評価表や研修運営方法
認定更新テストをWGで都度
見直し・改訂

静脈注射教育プログラム概要



年に2回プログラムを実施
そのうち1回を地域看護職員へ
公開

プログラム受講対象者 ※令和6年度例

【令和6年6月】
院内既卒看護職員
地域看護職員

【令和7年1月】
院内新卒看護職員

静脈注射教育プログラム詳細（講義）

講義内容	担当
静脈注射における看護師の役割 —看護業務と法的責任—	看護部 教育担当副看護部長
静脈注射に関する無菌的操作と感染管理	感染管理認定看護師
静脈注射に必要な解剖生理、合併症・危険性と対策	麻酔科医師
静脈注射に関する安全管理と事故防止	医療安全担当看護師長
薬剤に対する基礎知識	副薬剤部長
静脈注射を受ける患者の看護	IVナース育成WG

講義内容の変遷（一部抜粋）

<医療安全>

- 患者確認方法の変化
- 院内ルールの変遷に合わせた周知

<感染>

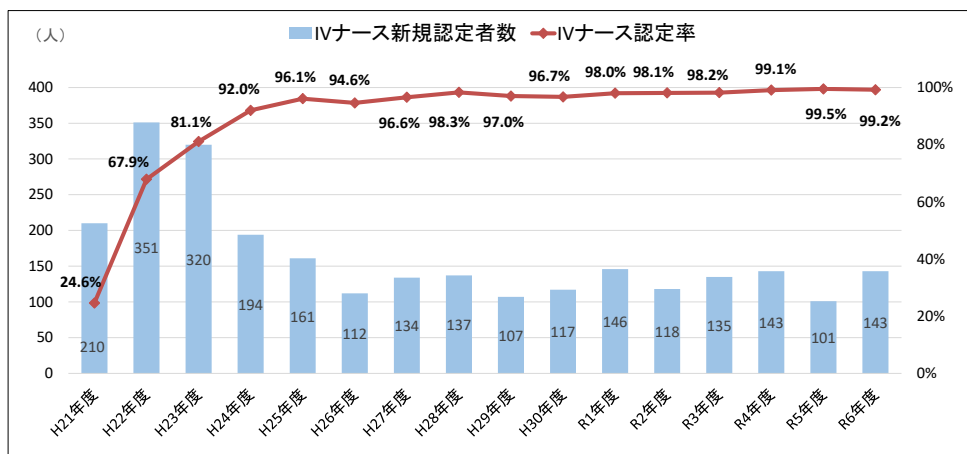
- ルート接続部の管理（消毒方法や物品の変化）
- 敗血症スコアの追加
- 陽圧ロックの追加
- ベストプラクティスの内容周知

<看護>

- スキン-テアの追加



成果: 静脈注射認定看護師育成数 (2, 629名)



プログラム受講者アンケート結果

【院内既卒看護職員】

- 静脈注射実施の経験はあったが、薬剤のことや解剖、看護についての学びを、講義を通して深めることができた。
- マニュアルに沿ったやり方や技術を習得することで、安全面や感染面を配慮し安全な静脈注射の実施に繋がると思った。

プログラム受講者アンケート結果

【新卒看護職員】

- 静脈注射実施機会の多い部署であり、合併症に注意して安全に行えるよう、知識、技術を向上させていきたい。
- 演習では手順に沿って丁寧に指導をしていただき、重要項目を確認しながら反復練習を行うことができ非常に充実していた。
- 安全への配慮や環境調整、声かけ、アナフィラキシー時の対応など総合的に判断する能力が必要だと感じた。

プログラム受講者アンケート結果

【地域看護職員】

- 基本的なことから、あまり知らなかった法的なことまで様々な分野の講師から学べてよかった。
- 静脈注射はこれまで実践してきたが、新たな情報とこれまでの知識を再認識することができた。
- 自施設での新人指導、院内教育に活かしていきたい。
- 受講者それぞれの目的は異なるが、実践に向けて意欲的な人ばかりで充実した時間になった。

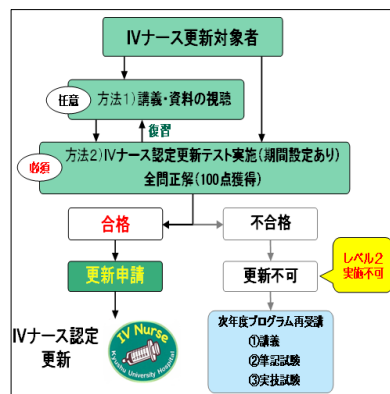
静脈注射認定看護師認定更新制度

目的：静脈注射に関する看護の質の維持・向上

方法：認定後、5年毎に実施

看護部eラーニングにてテストを受験

IVナース育成WG内で更新テストの設問内容を見直し、最新の知見やインシデント情報を反映させたものになっている。



成果：認定更新者数

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
初回	51	249	170	112	94	65	90	74	58	62	60
2回目						33	149	114	94	51	42
3回目											20

認定更新者アンケート結果

- IVナースを取得した時と現在とでは変化していることも多いため、定期的に勉強していくことは必要であると思う。
- 今後も認定更新制度があると学習の機会を得られるためとても良いと思う。
- 通常行っている業務をエビデンスに基づいて振り返る良い機会になった。

令和7年度活動内容：構成員

WG長：看護師長
 看護師長：2名
 副看護師長：4名
 （別府病院1名含む）
 看護師：6名

令和7年度活動内容:年間スケジュール

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日		7		1		2		4		6		3
WG活動内容		第1回 ・6月研修準備・打ち合わせ ・年間活動計画立案		第2回 ・6月研修振り返り ・指導案の見直し		第3回 ・活動中間評価 ・更新テスト準備開始		第4回 ・キャリアセンター報告書分担 ・更新テスト準備 ・1月研修準備・打ち合わせ		第5回 ・1月研修準備・打ち合わせ ・キャリア報告書作成		第6回 ・年間活動評価 ・1月研修振り返り
		研修(既卒者・地域公開) ・講義(4日) ・演習(6日) ・試験(18日・既卒者のみ)							認定更新テスト 12月～1月初旬		看護キャリア センター報告書 作成期間	
									研修(新卒者) ・講義(8・9日) ・演習(22・23日) ・試験(26日)			

まとめ・今後の展望

- ・ 静脈注射認定看護師育成プログラムは10年以上の時間をかけてシステム化されている。
- ・ 講義内容や演習指導は最新の知見やインシデント情報をもとに改正し、静脈注射の看護の質担保に繋がっている。
- ・ ワーキングの活動内容は、メンバーが変わっても円滑に進むように標準化が意識されている。
- ・ 認定更新者が増加しており、質の担保を考慮した対策が今後の課題である。